

# 二一八大安徽

## 你好安徽

2009年11月発行 第30号



五禽戲(体操)見学(亳州市)  
参观五禽戏体操(亳州市)



15周年記念式典(合肥市)  
15周年纪念仪式(合肥市)



1年ぶりの学生との再会(日本語ボランティア)  
阔别一年, 师生重逢(日语志愿者)

### 目次

- 15周年記念・安徽省訪問特集
  - ◆ 高知県・安徽省友好提携15周年記念訪問団に参加して
  - ◆ 安徽省(合肥・亳州)を訪問して
  - ◆ 日中書道交流に参加して
  - ◆ 高知県・安徽省友好提携15周年記念訪問団ツアーに参加して
- 安徽省教育交流訪問団の来高
- 安徽省日本語ボランティア奮闘記⑤ — 川村博子 —
- 陶さんの日本滞在記 — 陶 亜俐 —

- 15周年記念・安徽省訪問特集
  - ◆ 高知県安徽省結好15周年記念訪問団中国行記
  - ◆ 安徽省(合肥・亳州)訪問之行
  - ◆ 参加日中书法交流活动有感
  - ◆ 高知県安徽省結好15周年記念訪問旅行団中国游记
- 安徽省教育交流訪問団来高
- 安徽省日语教师志愿者奋斗记⑤ — 川村博子 —
- 小陶日本生活记 — 陶 亜俐 —

# 高知県・安徽省友好提携15周年記念訪問団に参加して

橋田 博之(県議会事務局、県議会訪問団随員)

高知県・安徽省友好提携15周年記念訪問団に県議会訪問団の随員として参加した。

初日は関西空港経由で北京空港へ。まず、北京空港の広大で最新の施設に感嘆し、その後故宮博物院(紫禁城ともいう。)を視察。足早に見学しながら通り抜けるのに2時間近くを要し、暑さのためか、私は、その規模の大きさに感嘆するよりも、その広大な施設の建設に携わった人民の労苦を想い、そしてこのような宮殿で暮らした皇帝はさぞかし孤独だったのではなどと考えたりしていた。

翌日は空路にて合肥市へ。安徽省の人口は約6,675万人、面積は14万k㎡。合肥市は安徽省の省都で、市街地人口250万人である。

合肥市では15周年記念の各種行事に出席したが、それぞれの会場では大型スクリーンに「熱烈歓迎日本高知縣友好代表團」の文字が掲げられ、文字通りの「熱烈歓迎」



歓迎昼食会の様子(合肥市)

欢迎宴会图(合肥市)

を受けた。

翌日は黄山へ。高速道路の両側には、よく手入れされた稲田が広がり、農家の建物こそレンガ造りで日本とは異なるものの、懐かしく心安らぐ風景があった。

今回の中国訪問で特に強く感じたことは、中国の方々の心からの歓迎とそしてその方々と交わした白酒(中国の蒸留酒)である。お酒はほとんど嗜まない私にとって、アルコール50何度ということを知り、少し腰が引けてしまったが、乾杯(ワイングラスに入った白酒を小さなグラスについて一息で飲む)したときの爽やかなのど越しと翌朝のすっきりした目覚めは初めて経験する驚きであった。さっそく帰りに上海の空港で買おうとしたが同じ銘柄のものがなく、やむなく別のものを買って帰った。その後職場の同僚と高知の居酒屋でその酒を飲んだが、その夜は体の火照りを感じて寝苦しい夜となった。やはり中国のお酒は中国で中国の方々と中国の食べ物を食べながら飲むのが一番だと思った。



高知県・安徽省友好提携15周年記念祝賀会で  
撮于高知县安徽省结好15周年纪念庆祝会

## 高知县安徽省结好15周年纪念访问团中国行记

橋田 博之(县議会事務局、县議会訪問団随員)

此次我有幸参加了高知县安徽省结好15周年纪念访问团及县议会访问团，随行访问中国。

首日，经关西机场抵达北京。最先映入眼帘的就是设施崭新、宏大的北京机场，令人惊叹不已。接下来参观了故宫博物院(又叫紫禁城)。不停加快步伐、快速地浏览了内部的设施，就花了将近2个小时。可能是因为天气炎热，比起故宫建筑的规模所带来的震撼，我更多想到的是当初建设这样恢宏建筑物的劳动者们的艰辛，以及在宫殿中生活的皇帝，我想他应该很寂寞吧。

第二天，乘飞机抵达合肥。安徽省人口6675万，面积14万平方千米。合肥市是安徽省的省会，市区人口250万。

在合肥，我们出席了15周年纪念的多场庆祝仪式，各项活动的会场都悬挂了大型屏幕，映有“热烈欢迎日本高知县友好代表团”的字样。诚如文字，我们确实是受到了热烈的欢迎。

第三天，赴黄山。高速公路的两旁是一望无际的稻田，以及由红砖砌成的农家住宅，确实与日本不同，这些风景不禁让感怀过去的时光。而此次访问中国，感受最强烈的就是中国人民发自内心的热情好客，以及觥筹交错时的白酒(中国的蒸馏酒)。对于不太喝酒的我，一听说是酒精度50多度的白酒，真是吓得有点腿发软了。干杯时(白酒装在稍大的红酒杯里，再倒入更小的玻璃杯中，一口气喝干)，酒过咽喉时的那种豪爽感，以及第二天起床时的神清气爽，都是我第一次体验到的感觉，着实吃惊不小。

一到上海，我立即想买同样牌子的白酒，可惜没有，只好买了其他品牌的白酒带了回来，与职场的同事一起在高知的小酒屋畅饮，但是当天夜里，体内如火烧一般，难以入睡。果然，中国的酒还是要与中国朋友在一起，边享受中国的美食边饮才有境界啊！

# 「安徽省(合肥・亳州)を訪問して」

四万十市企画広報課 上岡 弘一

8月18日から5泊6日で中国を訪問しました。私の勤務する四万十市は安徽省北部の亳州市と友好提携を結んでいます。高知県・安徽省友好提携15周年記念訪問に合わせて亳州市に友好訪問することで、合肥での式典など市単独ではできない経験ができました。

海外渡航経験の無い私にとっては、何から何まで未知の世界で、市長を団長とする四万十市友好訪問団8名全員が無事に帰国できるよう務めを果たせるのかとても不安でした。

そんな私にとって中国での主な心配は、天候・食事・ことばの3つでした。天候については、幸い行程に支障が出るほどの雨は降りませんでした。しかし、訪問地の中で最も北にある北京でさえ気温が32度で、炎天下の合肥植物園視察は、今回の訪問中、最も暑くて過酷でしたが、植物園の水と緑のある風景に癒されました。

食事については個人差があると思いますが、だいたいの料理は普通に食べられるもので、一番おいしかったのは鳥のスープでした。ただ、日本の料理と比べて全体的に塩味が足りないと感じました。

ことばについては、仕事関係は通訳がいるので影響ありませんでしたが、視察先や宴席などで、熱烈な歓迎に対する感謝の思いを直接伝えられないことが、とても歯がゆかったです。

全員が無事に帰国を果たし、どの心配もほとんど杞憂に終わりました。それは、不慣れな私を助けてくれた四万十市訪問団員の配慮はもちろんのこと、県の文化・国際課や上海事務所の方々の先導と、中国の、とりわけ合肥や亳州のみなさんの温かい歓迎があったからです。各地で掲げられた「熱烈歓迎!」の横断幕。食べきれないほどの料理。「カンペー、カンペー」に断り切れず、下戸の私が飲んだキツイお酒。おかげで朝までトイレから出られなくなったことも今となっては良い?思い出です。

今度は是非プライベートで旅行し、仕事を忘れて楽しみたいと思います。もちろんお酒は飲みません。再見安徽。再見亳州。



合肥植物園(合肥市)  
合肥植物园(合肥市)



亳州市庁舎玄関前  
亳州市政府门前



廟會広場(亳州市)  
庙会广场(亳州市)

## 《安徽省(合肥・亳州)访问之行》

四万十市企画広報科 上岡 弘一

从8月18号开始的六天五夜,我们对中国进行了友好访问。我所工作的四万十市和安徽省北部亳州市是友好城市。暨高知县和安徽省缔结友好关系十五周年纪念访问之际,我们也对亳州市进行了访问,同时也有幸参加了在合肥举行的庆典活动等,这是单独对市访问所没有的经验。

对于完全没有国外出访经验的我来说,在一个始末未知的世界里,能否让以市长为团长的四万十市友好访问团一行8人平安归国一直令我忐忑不安。

最让我担心的主要是天气、饮食和语言。关于天气,所幸的是并没有出现影响行程的雨天。但是,连访问地中最北端的北京,气温都达到了32度。炎炎烈日下对合肥植物园的视察,是这次访问中最酷热难耐的经历,但是,炎热的感受早已被植物园的一潭湖水与郁郁葱葱的花草所淡化了。

在饮食方面我认为因人而异,基本上都是可以接受的,最美味的要数鸡汤了。只是和日本料理相比,整体上感觉咸味不足。

关于语言,在工作方面,因为有翻译所以没有什么影响。但是,在视察地和宴会等场合,面对对方热烈的欢迎而无法直接用语言表达出自己的感激之情,真的很着急但也很无奈。

现在,所有团员都已平安归国,我所有之前的不安看来也是杞人忧天。当然,这一切多亏了给予经验不足的我诸多帮助的四万十市访问团团员,还有县文化国际科和上海事务所的各位向导,以及中国特别是合肥和亳州的各界人士的热情接待。各地悬挂着的“热烈欢迎!”的横幅、丰盛的佳肴、“干杯、干杯”,盛情难却、让人无法拒绝的敬酒、不胜酒量的我喝起来非常刺激的白酒。多亏了它,我一直到早上才能从洗手间里出来,现在想来还是美好的?回忆。

下次我一定要再去个人旅行,将工作暂时放在一边,尽情地享受。当然,酒,我就不喝了。再见,安徽。再见,亳州。

# 日中書道交流に参加して

常光 嘉子

貴重な体験ができるという思いで、高知県日中友好書道協会の訪中団として初めて中国を訪れた。まず上海へ、その夜11時過ぎに安徽省合肥の空港に到着、遅い時間にも拘わらず空港では安徽省書法家協会等の方々の歓迎を受けた。

翌日は日中友好書道展の開幕式、書道交流、高知県・安徽省15周年記念祝賀会である。午前中、合肥の包公公園を観光、ここで24年前に訪日団長として来高された書家の方と当時のことを知る訪中団員との偶然の出会いがあった。その方は現在、深圳に住まれ観光でこの公園においでしていたとのこと。13億人の広い中国での出会いに驚いた。

午後から合肥・久留米美術館で第13回日中友好書道展の開幕式が尾崎高知県知事、安徽省幹部、日中友好協会、書道関係者等が列席して行われた。会場には高知から持参した作品96点、中国からは90点ほどが展示され、両国の作品の違いを感じた。日本の作品は線質や空間を生かしたものの、中国は古典的で達筆な字の作品が見られた。安徽省の書家との懇談では子供の書道教育が話題となった。日本では小学校3年から書道は必須科目であるが、中国の小学校では書道の授業はなく、少年宮で書道教育が行われている。書のルーツの中国で必須科目ではないことは意外であった。両国の書家による席書では、まず、はじめに高知から竹森団長が「永受



訪中国の一行(右から5番目が筆者)

訪中一行(右起第5位为作者)

嘉福」、次いで安徽省書法家協会秘書長等によって「書道金蘭」、「語異心通」などの字が揮毫され、お互いの作品が出来上がるたびに参加者から感嘆の声があがった。



席書の風景(団長:竹森桂翠)

即兴挥毫(团长:竹森桂翠)

書道交流の翌日から北京、上海の観光地を訪れた。どの都市も日本以上の高層ビル群と延々と続く人の群れに驚き、その一方でリヤカーのスイカ売りや建設現場で働く上半身裸の労働者の姿など、新旧混在した中国の現状を垣間見た。

悠久の歴史を持ち、めまぐるしく経済発展し続ける中国をまた訪れてみたい。



書道展の開会式  
書道展开幕式

## 参加日中书法交流活动有感

常光 嘉子

这次旅行给我的人生带来了珍贵的体验。

跟随高知县日中友好书法协会访中团，我第一次来到中国。

当晚11点多由上海抵达合肥机场，虽然已经是深夜，但还是受到了安徽省书法家协会成员的热烈欢迎。

第二天，举办了日中友好书法展的开幕式、书法交流、高知县安徽省15周年纪念庆祝会等活动。上午，我们参观了合肥包河公园。在公园里有段奇遇，24年前作为访日团长曾到过高知的中国书法家与当时的访中团成员偶然相遇。通过交谈得知，中国那位书法家现住在深圳，此次正是来合肥旅游。在拥有13亿人口的中国，能有这样偶然的相遇，不禁让人感叹世界之小。

下午，在合肥久留米美术馆举办了第13届日中友好书法展的开幕式。高知县尾崎知事、安徽省领导、日中友好协会、书法爱好者纷纷出席。会场中，展示了来自高知的96件和中国的90件作品，明显可以感受到两国作品风格有别。日本的作品更注重利用线条及空间感，而中国的作品多半是古典流畅的字样。和安徽省书法家交流时，还谈到了孩子的书法教育话题。在日本，小学三年级开始书法是必修课程，但是在中国小学没有书法课程，孩子们都是在少年宫学习书法。中国作为书法起源的国家，书法却不是必修课程让人有点意外。之后是两国的书法家即兴发挥，首先是高知竹森团长提笔写下《永年嘉福》，接着安徽省书法家协会秘书长挥毫《书道金兰》、《语异心通》。台上笔落，台下感叹。

书法交流之后第二天，又参观了北京上海两个旅游城市。这两个城市无论是哪个，与日本相比，更是高楼林立、人群熙攘，出乎我意料之外。但另一方面，从拉着人力二轮车卖西瓜的农民及赤裸上半身在建设工地上忙碌的工人的身影中，又依稀能窥见到中国新旧混合存在的现状。

真想再次来到这历史悠久，经济发展日新月异的中国一游啊。

# 高知県・安徽省友好提携15周年記念訪問ツアーに参加して

川田 恵美子

昨年、国際交流員の劉鵬さんによる安徽省の講座を聴講し、一度訪れてみたいと思っていたところ、今回のツアーに参加する機会を得た。

近代化が進む上海を皮切りに、安徽省の合肥、雲南省の昆明へと西南へ進むにつれ、広陵とした農村地域が広がる。中国の古い町並みも残っていた。そうした流れの中で、高級車に乗り、高級マンションに住む人々と、自転車で大きな荷物を積んで行き交う人々の間には、見た目では日本と異なり、依然として貧富の差があることを実感した。

2日目の合肥でのレセプションでは、歓迎式の後、中国の楽器による演奏や当地の劇を観賞。高知からは知事ほか参加者による鳴子踊りを披露、和やかなうちに幕を閉じた。安徽省のこの劇が中国の代表的演劇の一つである京劇の始まりだと聞き、日本の歌舞伎が、田舎より発祥したように庶民の楽しみが、芸術性を帯びた劇に発展した過程を思い起こしながら、華やかさの中にも、素朴さを感じつつ、そのすばらしさに感激した。

現地見学では、古い寺・歴史上の人物・遺跡等を見て回ったが、その土地を理解するには、やはり歴史を辿るのが一番だと思った。安徽省博物館では、復元された陳列品や中には細かな技術が施された木彫りや石彫りの展示物もあり、驚くとともに歴史の深さを肌で感じさせられた。

雲南省昆明では自然と人工の調和した劉門、何億年もかかって出来上がった自然の造形物である世界遺産の石林は、目を見張る景観であった。

今回同行した人々とも知り合いになり、レセプションで知り合った隣席の中国の方との短い会話から、友達としての交流が始まりました。天候、食事、旅仲間に恵まれ、知事も参加されるという少し緊張もあり普段と違った旅となりました。

このような思い出深い旅に、参加する機会を与えていただき旅行日程も充分楽しめるものにしてくださった国際交流協会の皆様に感謝いたします。



合肥でのホテルでの知事との記念写真(右から2番目が筆者)  
合肥酒店与知事紀念合影(右起第2位为作者)



広大な面積の世界遺産の石林の一部  
宏伟的世界遗产：石林一角

## 高知県安徽省結好15周年記念訪問旅行団中国游记

川田 恵美子

去年曾参加过国际交流员刘鹏举办的安徽省介绍讲座，当时就非常想去安徽走走看看，正巧赶上机会，参加了这次的旅行团。首先是抵达了现代大都市上海，接着到了安徽省合肥，云南省昆明等地区，随着路线的不断往西南前进，我们抵达了广陵等广阔的农村地区。残存的中国古老街道上车水马龙，其间乘坐高级轿车住高级别墅的人与手推自行车载着重行李的人熙熙攘攘，交错而行。仅从感观来看，这一点与日本还是不同的，中国依然有着一定的贫富差距。

抵达中国的第二天，在合肥的招待晚会上，继欢迎仪式之后，我们观赏了中国传统乐器演奏及当地的地方戏。高知县知事以及其他在场的在场人员与大家共跳鸣子舞，在一派祥和的气氛里结束了当晚的招待会。我听说安徽省的地方戏(徽剧)是中国的代表性戏剧京剧的起源，这不禁让我想起日本的歌舞伎，也是由起源于民间的大众性艺术，而后渐渐发展成为充满艺术性的戏剧。带着这样的共鸣，我发现安徽省的地方戏华丽中不失质朴，深深地为其高超的艺术性而折服。

参观学习时，我们浏览了一些古寺、历史名人、遗迹，也体会到了要理解当地，还是应该从追溯当地的历史着手。在安徽省博物馆的陈列品中，有重新复原的木雕石雕等艺术品，其手艺之精湛令人不禁叫好，同时也让我切肤感受到了历史的深奥。

在云南省昆明，自然与人工协调的刘门，历经上亿年形成的自然地形风貌同时也是世界遗产的石林，其风景之美让人瞠目结舌。我也与同行的很多团员成了朋友，在欢迎会上认识了邻座的一位中国人，通过简单的对话，渐渐成为了朋友。天时地利人和又有美食相伴，同时又见到了知事，多少有点小小的紧张感，此次旅行与平常的旅行还是有些差异的。

非常感谢国际交流协会给了我这样的机会充分享受此次旅行的乐趣，并留下了如此深刻美好的记忆。

# 安徽省教育交流訪問団の来高



牧野植物園

高知県が友好提携をしている中国・安徽省から、金燕教育庁副庁長を団長とする教育交流訪問団6人が、平成21年6月15日から16日まで、1泊2日の日程で来高しました。

15日のお昼前に高知に到着した一行は、まず、安徽省の合肥植物園と友好植物園協定を締結している牧野植物園を訪問しました。前田副園長に園内を案内していただき、2004年に安徽省より友好記念として植樹されたウメや、2008年に合肥植物園から寄贈された貴重な花蓮などを見学しながら、小中学生を対象とした植物園の取り組みなどの説明を興味深く聞いていました。

その後、知事と教育長を表敬訪問し、高知県が取り組んでいる教育改革などについて懇談しました。中国でも教育分野の改革が盛んになりつつあるとのことで、翌16日の高知県教育委員会や高知県教育センターの視察においても、教育改革や人事制度、職員の研修体系などについて熱心に質問されていました。

16日の午後は、中高一貫で国際理解教育の推進に取り組んでいる県立高知南中・高等学校を訪問しました。生徒たちは、英語以外にもさまざまな外国の言葉や文化などについて学んでおり、安徽省淮南市第十三中学校とも交流があります。

高知県文化・国際課 公文 妙  
授業風景を視察する一行に手を振ったり、中国語で挨拶をしたりする生徒もいて、思わぬ交流ができました。

最後に訪問した高知工科大学では、国際交流センターの方々が大学の概要について説明してくれました。工科大学は、中国の複数の大学と国際交流協定を締結していますし、中国からの留学生も多数受け入れています。大学からは、留学生を対象とした工科大学独自の特待生制度があるので、この制度を活用して安徽省からも留学していただきたいとお話がありました。今回の訪問を機に、新たな交流がはじまることを願い、一行は高知龍馬空港から離高しました。



知事・教育長表敬訪問  
知事、教育長会见



教育センター  
教育中心

## 安徽省教育交流訪問団来高

高知県文化・国際科 公文 妙

平成21年6月15日至16日，来自高知县友好城市安徽省的，以教育厅副厅长金燕女士为团长的教育交流访问团一行6人抵达高知，进行了为期两天的访问。

访问团一行于15日中午来到高知，首先便参观了牧野植物园，牧野植物园与安徽省合肥植物园是友好植物园，前田副园长带领大家参观了园内风貌。其中有2004年安徽省种下的友好纪念梅花，以及2008年合肥植物园赠送的贵重莲花，大家一边欣赏着这些美景，一边兴趣盎然地听取了园长关于植物园是如何针对小学生进行植物教育等主题所作的相关介绍。

之后，高知县知事以及教育长会见了教育团一行，就高知县的教育改革等相关问题交换了意见。因为目前中国教育界也正在进行改革，所以在次日的视察高知县教育委员会以及高知县教育中心的活动中，访问团成员纷纷就教育改革、人事制度、职员进修等热心提问。

16日下午，参观了中学和高中一体化教育的高知县立高知南中高等学校。学生们除了学习英语之外，也接触各种其他国家的语言和文化，并且与安徽省淮南市13中学一直保持着交流活动。在参观授课过程中，让人意想不到的是：学生们都积极向团员一行挥手，并且用中国话与大家打招呼。

最后，大家来到了高知工科大学，听取了国际交流中心关于大学的概要介绍。工科大学与中国众多大学都签订了国际交流协议，接收来自中国的很多留学生。工科大学在介绍中讲到，大学对于来自国外的留学生有特别优待制度，让团员们也萌发了推进工科大学与安徽省内大学交流的念头。大家都热切希望通过这样的访问活动能够进一步促进两省县间新的交流。访问团一行带着这样友好的意愿于当天下午离开高知。

# 安徽省日本語ボランティア奮闘記⑤

日本語ボランティア 川村博子

## 再び合肥へ

高知の皆さん、お元気ですか?こちらは、あんなに暑かった夏はどこに行ったかと思うぐらい涼しく、いやもうすっかり寒くなってきました。

2009年8月20日、2年前と同じ暑い夜、私は再び中国安徽省合肥市にやってきました。縁あってもう一度安徽三聯学院で日本語を教えることになったのです。学校は専科大学から本科大学に変わり、名称も「安徽三聯職業技術学院」から「安徽三聯学院」になってますます発展しています。

去年の夏にお別れして1年ぶりに会う先生、学生、街の人、友人たち、皆温かく迎えてくれました。3年生からは、「とても会いたかったです。」と言われ、懐かしさと嬉しさが胸が熱くなりました。新しく出会った先生もやさしく、学生たちは、以前同様、明るく素直で元気いっぱいです。これから1年間、またこの街で暮らすんだと思うと力が湧いてきます。合肥の街も学校同様、大きく変化していました。2年前には工事中だった道路は完成し、4車線になっていて、エスカレーター付き歩道



新しい歩道橋  
新建成天桥



新しいコーヒーショップで店員と(中央が筆者)  
时髦咖啡店与店员合影(中间为作者)



公園の健康器具  
公园健身器材

橋が数か所に設置されました。今は私の宿舍周辺の道路が新しくなろうと建設が進んでいます。

しかし、街にある市場は以前と変わらず、人情味溢れた人々ににぎわっています。昔ながらの秤や竹で編んだ入れ物は懐かしく、市場や屋台の人たちと話をすることを楽しんでいます。公園では太極拳や太刀踊りの練習が毎日行われ、健康機器も備え付けてあります。これは2年前にはなかったものです。前のアパートからは胡弓の調べが聞こえてきて、私は今中国にいるのだと、実感しています。

# 安徽省日语教师志愿者奋斗记⑤

日语教师志愿者 川村博子

## 再一次来到合肥

高知的朋友们，你们好吗？本来还在想着如此酷热的夏天该去哪里避暑，转眼间天气已经变得凉爽，不，说是寒冷更加确切吧。

2009年8月20日，和两年前同样的一个酷暑之夜，我再次踏上了去往中国安徽省合肥市的旅程。因为缘分，我再一次来到安徽三联学院日语系任教。此时的学校已经从专科大学升到了本科大学，名称也从“安徽三联职业技术学院”变成了“安徽三联学院”，由此可见学校蒸蒸日上的发展。

一年后，再次见到了去年夏天刚刚告别的老师，学生，朋友，甚至是只是以前街道上那些偶遇的人。无论在哪里，我都受到了大家热情的欢迎。三年级的学生对我说：“分别后就一直很想再见到老师。”听了这些话，难以言喻的感动与喜悦充盈了胸口，让我感到十分温暖。新结识的老师都很亲切，学生们也还是和以前一样开朗真诚，充满了活力。去年告别后，我就一直在回忆在合肥生活的点点滴滴。如今再次来到这里，发现合肥的街道和学校一样，也有了很大的变化。两年前还在建设中的道路工程已经完工，变成了可以并行通行四辆车的马路，马路上还新建了多处带有电梯的人行天桥。现在，我的住所附近的道路也正在进行翻新扩建工程。

但是，街道上的市场还是如往昔一样热闹，充满了浓浓的人情味。再次看到以前在合肥市场上随处可见的秤和竹编菜篮，觉得十分怀念。和市场里的摊主们聊天也非常愉快。公园里每天都能看到练太极拳和太极剑的人，其他的一些公用的健身器械设备也很齐全，这些都是两年前所没有的。此时，听到从前面公寓传来的二胡低沉优美的音色，真正有了再次置身于中国的实感。

# 陶さんの日本滞在記

高知に来てから、アツと言う間に半年が経過。今はとても涼しくて過ごしやすい季節に変わってきた。シーズンの景色は変化に富んでも、変わらないのは常に咲いている色とりどりの花。私は本当にこのような生活に慣れ、好きになった。

最初、高知に着いた時は、少し困ることも有り、例えば土佐弁が分かり難いとか、ゴミの捨て方が複雑とか、色々と大変だったが、一方、不思議なこともあった。私のイメージには、日本人は曖昧が特徴だが、なぜか高知の方は非常に朗らかで、明るい性格が多いのだ。その関係かもしれないが、音楽ライブや、ミュージカルなどの芸術活動も色々あり、音楽好きの私にとっては、とても有り難いのだ。

また、国際交流員としての仕事も実に多彩だ。異文化理解講座を行ったり、学校訪問をしたり、日本の方に中国語や中華料理等を教えたりしている。達成感のあるお仕事だし、私自身も高知県の文化、歴史、伝統風俗と実際に触れ合うチャンスがあった。この半年間、次第に土佐人に成りつつあり、下手ながら、少し土佐弁もできるようになった。

県国際交流員 陶 亜俐

そして、今年は安徽省と高知県友好締結15周年という節目の年で、8月中旬頃、尾崎知事と一緒に中国へ行ってきた。このような盛大な国際交流活動に参加したのは、人生で初めてだった。日中間友好関係の更なる推進力と成ることができれば、と何時も思う。残りの半年間は、どんどん楽しんで頑張っていきたい。この1年間は人生の最高の思い出で、何にも勝る宝になれるように。



中国理解講座で講師を務める筆者  
中国理解講座講師兼作者

## 小陶日本生活記 县国际交流員 陶 亜俐

来到高知，不知不觉间已经过去半年，气候渐变，已进入了气温适宜的凉爽秋季。季节变迁，景色不断变化，但唯一不变的是常开不败，五彩缤纷的花朵。而我也确实渐渐习惯并且喜欢上了在高知的生活。

最初抵达高知时多少有些困惑，比如土佐方言不易听懂，扔垃圾的方法有些复杂等等。但是另一方面，也有让我感到不可思议的地方。之前在我的印象中，日本人的性格暧昧是其特征，但不知为何，高知的朋友们多半性格都非常开朗。也许是这个原因吧，在高知也经常举办各种现场音乐会，音乐剧等艺术活动，对于喜欢音乐的我来说，真的是非常幸运。

此外，身为国际交流员，工作的内容也相当丰富多彩。例如举办异文化理解讲座，去学校访问，教日本的朋友中文并与他们一起做中国菜，这样的工作给我带来了成就感，同时我自身也在潜移默化中实际地接触了高知的文化、历史和传统风俗。到目前为止的这半年，我感到自己正在一步步变成一个土佐人，并且能说一些土佐言了，虽然有些蹩脚。

此外，今年正逢安徽省与高知县结好15周年。八月中旬，我与尾崎知事等一行去了中国，这是我人生中第一次参加这样盛大的国际交流活动。经过这次活动，我进一步确立了自己的目标：一定要为中日友好关系的更进一步发展而做出不懈努力。

接下来的这半年，我也一定要充分体验和享受在高知的生活。相信这一年的高知生活将成为我人生中最美好的记忆和最值得珍藏的宝藏。

### 発行：高知県安徽省友好交流委員会

事務局 〒780-0870 高知市本町4-1-37  
高知県国際交流協会内  
Tel/088-875-0022 Fax/088-875-4929  
E-mail/info\_kia@kochi-kia.or.jp  
Homepage/http://www.kochi-kia.or.jp/

### 会員募集中! (詳しくは事務局まで)

個人年会費：2,000円 団体年会費：10,000円

### 【編集後記】

15周年の今年は安徽省からの公式訪問団が例年よりも多いです。そのため今回号で載せることができなかった各団の様子を、次号では非皆さんに紹介したいと思います。